

【会議の概要】

1 開会

- ・金子都市整備課長の進行で 13：30 開会

2 会長挨拶

- ・加藤会長による挨拶

3 委員の紹介

- ・出席委員から自己紹介

4 議事

(1) 報告

ア 会長職務代理の指名について

- ・設置要綱第 5 条第 3 項に基づき、資料 No. 1 のとおり会長が新保委員を指名

イ 路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー等の運行状況について

- ・資料 No. 2 により事務局から説明

<各委員からの質疑・意見>

- 谷根・高谷根の方から、「ハッピー早川店に買い物に行きたい。」と要望が出ている。

→試験的に上早川地区の西山線で、今年の 4 月からハッピー早川店で 20 分停車するようになり、5 月中旬から利用が増え、大変喜ばれている。下早川地区でも検討したい。

ウ 乗合タクシーの平成 26 年 4 月 1 日付け時刻改正について

- ・資料 No. 3 により事務局から説明

<各委員からの質疑・意見>

- 意見等なし。

エ 路線バスの使用車両について

- ・資料 No. 4 により事務局から説明

<各委員からの質疑・意見>

- 意見等なし。

オ 利用促進のための PR・啓発活動について

- ・資料 No. 5 により事務局から説明

<各委員からの質疑・意見>

- バス教室便りの最後にある「サプライズ」とは何か。

→児童の皆さんをバスに乗せて学校までお送りする際、会社敷地内でバスに乗ったまま、なかなかできないある体験をしていただく。喜んでいただいた。これを「サプライズ」と記載し、お楽しみとして内容を秘密にしている。

→当校でも実施を予定しているので、秘密にしておく。

カ その他
なし

(2) 協議

ア 路線バスの平成 26 年 12 月 15 日付けダイヤ改正（案）について

・資料No.6 により事務局から提案説明

<各委員からの質疑・意見>

●バス停留所の名称変更が 29 か所とかなり多いが、今まで利用されていた方などへの周知方法はどのようにするのか。

→バス停留所に変更内容を表示したり、事業者が案内の中で周知いただければと考えている。他に広報おしらせばんや能生ケーブルテレビなどでも周知を図る。

→時間もあまりないので、できるだけ多く、様々な方法を使って周知いただきたい。

→バス停留所の位置が変わるわけではないので、戸惑いは少ないかと思う。

●新設系統で、糸魚川駅日本海口～糸魚川総合病院～笹倉温泉～焼山温泉とあるが、このルートで走るということか。

→系統名としてこうなっているが、実際は、焼山温泉～笹倉温泉～糸魚川総合病院～糸魚川駅日本海口という順番での運行となる。

笹倉温泉から焼山温泉には、焼山温泉手前の橋のところで、カーブが鋭角であるため、安全確保のため、この順番では運行できない。系統名称と逆向きの運行とお考えいただきたい。

<協議結果>

●異議なしにより、本会議で協議が調った。

イ 乗合タクシーの停留所の廃止・新設と経路変更について

・資料No.7 により事務局から提案説明

<各委員からの質疑・意見>

なし

<協議結果>

●異議なしにより、本会議で協議が調った。

ウ 乗合タクシーのフリー乗降区間の設定と経路変更について

・資料No.8 により事務局から提案説明

<各委員からの質疑・意見>

なし

<協議結果>

●異議なしにより、本会議で協議が調った。

エ その他

<各委員からの質疑・意見>

●路線バスの時刻表に対していくらか到着が遅れるのは当たり前と思っているが、遅れる範囲は5分くらいなど、どのようにお考えか。ある小学校から「最近、バス通学のこどもの登校が遅れている。これから冬になるともっと遅れが出る

だろう。外でずっとバスを待つのはかわいそうであるし、登校があまりにも遅れると何かあったのではないかと心配である。」とのこと。

→遅れの範囲を決めていることはない。早発は禁止である。運行時に事故等で遅れが生じるようなことがあれば、会社に第一報入る。毎日遅れるというのなら、運行時刻の見直しが必要。

- 停留所について。元々家があったところを壊したら、風当りが強くなった。バス停の待合室を作っていただく場合、どこにも補助制度がないそうだが。
 - 公共交通機関利用促進事業補助金というものがある。バス停の待合室の新築や修繕を、自治会や利用者団体等からしていただく場合には、その費用の1/2、上限額50万円まで補助するという制度。毎年夏に各自治会長様などに照会し、来年度の予算化を行っている。

- 新しくできた糸魚川駅前ロータリーのバス停車枠付近に一般車両の駐車が多すぎて、まともにバスが停車できる日がない。朝9時を過ぎると停車できず、バスのお客は、駐車車両の脇を歩いてバスに乗る形になる。バス停車枠に駐車されないよう対応をお願いしたい。
 - 糸魚川駅前バス停移設当初から聞いており、当課職員が現地の状況を見たり、注意したりした。これはモラルの問題であり、啓発をしていく以外ない。
 - バス停車枠だけでなく、出発時には大きく右カーブを切るので、その前も駐車されては困る。
 - タクシードライバーからも話を聞いている。以前は、今のバス停枠の位置で、常に一般車両が待っていた習慣があり、現在、一般車両駐車レーンが一番奥の枠に変わったことが大きいのではないかと認知度が低いと思われる。
 - 公共交通の結節機能を考慮したり、交通弱者への配慮から、現在の形になった。バスを利用される方の多くは交通弱者なので、そういった方々の利便性を優先したい。そういった考えから、駅の待合室もバスが来たことがよく見える位置に設置した。

※金子都市整備課長の挨拶で15:08閉会